

十勝組だより

新年度に向けて



十勝組副組長
御幸 誓見

春の日差しが眩しくなつてまいりましたが、皆様には益々ご健勝にてお念仏ご相続のこととお慶び申し上げます。

昨年度の十勝組の各行事には、多くの僧侶、寺族、門信徒の皆様のご参加を頂き厚く御礼申し上げます。各寺院におかれましては、法務のお忙しい住職の代理で若院の方に出席を頂くなど世代の交替が進みつつあることに気付かされます。

来る親鸞聖人七百五十回大遠忌法要にむけ、本年度には十勝組に於いてもお待ち受け法要をお勧めいたします予定であります。多くの皆

様のご参詣を頂き、親鸞様のご遺徳を偲ばせていただきながら、「ともにいのちかがやく世界へ」の実現に向かつて歩み始めましょう。



十勝組副組長
桃井 直行

「頑張れ！副組長さん」

月日が経つのは早いもので、私が十勝組の副組長を命ぜられました。既に三年が過ぎ去りました。

この間、十勝組においては、組報「十勝組だより」やテレフォン法話集の発刊、真宗協会「慈恩の里」（老人福祉施設）でのビハーラ活動やお寺と子供たちのご縁づくりのキッズ・サンガの促進など新しい取り組みがなされてきていました。また仏婦、仏社、総代、寺

第24号

発行所 音更町西然寺内
十勝組各長事務所
発行人 白木 幸久
題字揮毫 妙覚寺住職 眞幌 氏

にこれからのお寺のあり方を考えていくという取り組みが始まりました。これから宗門ということでは、司会を頑張りました）において、朗説説法や演劇説法を行い、通常のお説教とは違ったユニークな説

北海道教区青年僧侶協議会主催の「温泉説法の集い」（二月二十六・二十七日・十勝川温泉開催：私が司会を頑張りました）において、朗説説法や演劇説法を行い、通常のお説教とは違ったユニークな説法スタイルを試みました。この朗説説法は、親鸞聖人七百五十回大遠忌十勝組お待ち受け法要（平成二十二年七月三日、帶広別院で開催予定）でも行う予定ですので、二十二年七月三日、帶広別院で開催予定）でも行う予定ですので、二十二年七月三日、帶広別院で開催予定）でも行う予定ですので、二十二年七月三日、帶広別院で開

二〇〇九年度（平成二十二）総代会 活動を振り返り 来年度に向けて

十勝組総代会部長
藤原 昇典

四月二十六日、帯広別院での第二十二回総会・研修会時において、役員改選をしましたので、ご報告いたします。

副会長 堀田 豊（光教寺）
副会長 新田 哲彦（妙覚寺）
監査 森岡 剛（眞經寺）
監査 野村 昇一（西然寺）
監査 加藤 智久（帯広別院）
会計 奥村誠一郎（光明寺）
他各線幹事により、平成二十三年までの三年間、活動してまいりますのでご協力宜しくお願ひいたします。前役員の方々には、総代

新役員
顧問 今江 一良（淨永寺）
会長 松田 正志（光心寺）

会運営の為に、ご尽力頂きお世話をになりました。今後もご協力をお願いいたします。

総会の後、妙法寺副住職 石田智秀氏をお招きし、「自信教人信」一つたえる・つたわるーの講題で研修をいたしました。

五月十三日 十七時からホテルノースランドにおいて新旧役員会議を開き、引き継ぎ等を行いました。



十月二十八日～二十九日 C ブロック門徒総代研修会が、北見東組の当番でホテル網走湖荘にて開催され、参加者百十名の内、十勝か

十勝組は百十名でした。平成二十一年度の総代会部活動は、計画した行事を新役員を中心に予定通り全て無事開催することができました。新年度これから行事として本年度は、各ブロックの総代研修会が、北海道教区全体の研修大会として四月二十一日～二十三日に札幌別院で開催いたしましたので宜しくお願ひいたします。

各寺總代様には今後とも總代会各種行事に参加を宜しくお願ひいたします。

らは十九名の参加でした。ご講師は上山大岐氏で、講題は「私の歩む道～浄土真宗の教義に学ぶ」でした。

平成二十二年二月十一日～十二日、総代会・壯年会の合同一泊研修会を十勝川温泉観月苑で実施、上川南組永楽寺住職 永江竜心氏をお迎えして、「現生十種の念佛人生」をテーマで研修をいたしました。

参加者は百十名でした。平成二十一年度これから行事として

は、總代会総会・研修会を、帯広別院にて七月三日に開催いたしま

すので宜しくお願ひいたします。

本年度は、各ブロックの總代研修会が、北海道教区全体の研修大

会として四月二十一日～二十三日に北

見西組が当番で開催予定です。

各寺總代様には今後とも總代会

各種行事に参加を宜しくお願ひいたします。

おかげさまで

十勝組仏教壯年会連協
会長代行 近藤 繁

平成二十二年四月十日

罪業を重ねている私ですが必ずすくうと言つてご文章に引かれ、昭和六十二年西別院壯年会に飛び込みました。

平成四年十勝組仏壯の理事と同時に会計を担当、十六年から監査、十八年から副会長、二十一年九月から代行。人生一寸先闇で西島前会長に次いで村瀬会長の突然の他

界無常目の当たりにして、只々悲しみと生前の労苦とご指導に感謝とお礼を申し上げる次第です。

私も十八年間に亘り各僧侶様始め十勝組仏壯の皆様の深いご指導とご厚情に支えられ無事大任を終える事が出来ましたこと、深く感謝とお礼を申し上げます。

今後は一合員として

青少年部を母体にキッズサンガの活動を皆様のご協力のもと進めさせて頂きました。

『お寺を子供の居場所に』を大きな柱として、これまでの法話の形態を物語形式でブロックラックラ

イトシアターの作成と実演を通じて研修を深め参りました。

変わらぬご指導重ねてお願ひ申し上げます。

毎々親鸞聖人の七百五十回忌お待ち受け法要並びに全道大会と重

要文化財（本願寺展）の見学など当面課題が控えており、新体制の益々のご活躍とご指導を發揮されんことを急じ退任の挨拶といたします。

「一年を振り返って」

十勝組青少年部
部長 藤本 実円

平成二十二年四月十日



十勝組青少年部の会員として、十勝組仏壯の皆様の深いご指導とご厚情に支えられ無事大任を終える事が出来ましたこと、深く感謝とお礼を申し上げます。

今後は一合員として

青少年部を母体にキッズサンガの活動を皆様のご協力のもと進めさせて頂きました。

『お寺を子供の居場所に』を大きな柱として、これまでの法話の形態を物語形式でブロックラックラ

イトシアターの作成と実演を通じて研修を深め参りました。



青少年部を母体にキッズサンガの活動を皆様のご協力のもと進めさせて頂きました。

『お寺を子供の居場所に』を大きな柱として、これまでの法話の形態を物語形式でブロックラックラ

イトシアターの作成と実演を通じて研修を深め参りました。

レバートリー三部となり、今年度は更に増やして行けたらと計画しております。

実際に十勝組では一泊二日でのキッズサンガ開催寺院が四力寺となり、その活動は門信徒会運動研修協議会で発行されたかわら版でご紹介させていただいております。

また、平成二十三年度までに全寺院開催を目標にこのかわら版は継続して行く予定です。

この『全寺院 子どものつどい』



基督教婦人大会

平成二十一年度 十勝組仏教婦人会連絡協議会活動報告

十勝組婦人会部長 池上 恵龍

①十勝組仏教婦人会連絡協議会総会・一夜研修会四月八日(土)~九日(日) 十勝川温泉「観月苑」

参加者二百名

「しあわせ みつめてみませんか」
講師 山階 照雄氏

②第二十九回全道仏教婦人大会
六月十七日(土)十八日(日) 小樽市民会館

参加者千三十五名(十勝百名)

「現代(いま)、ともに行動へ」
講師 嘉屋英嗣氏

③第五十四回十勝組仏教婦人大会
六月三十日(火)

昨年の十一月十六日、塚本忠子さんの訃報の知らせに驚き、信じられませんでした。いつもまめに、いろいろな会に出席されていましたが、急に姿を見かけなくなり、その後身体の調子が良くないとお聞きし、心配をしておりました。今まで、健康で病気に縁が無く、



十勝組仏教婦人会
会長 藤本喜久子

塚本忠子さんを偲んで

⑤五月十二日に上り線が妙覺寺、下り線が東光寺、土幌線が報徳寺、尾線が北光寺、十二月九日(水) 帯広別院

「キッズサンガ」
講師 藤本実円氏
お寺をこどもの居場所に
お寺をこどもの居場所に
藤本実円氏
参加者九十四名

④第十九回十勝組若婦人研修会
十二月九日(水)
藤本実円氏
講師
参加者九十四名
私が願いとなつてゆく
「願いの中に生かされ
でなく、親鸞聖人の大遠忌法要
をご縁に、淨土真宗本来のお寺の
力を一力寺でも増やそうとする活動
ではありません、親鸞聖人の大遠忌法要
を在り方を僧俗共に問うて行き、「い
つでもどこでもあなたのことをお
みまもつてあるよ。大丈夫だから
出来る事を精一杯してごらん」と
次代を担う子供たちと私たちが、
「命輝く人生を送させていただく
大きな願い」のもとに活動させて
いたたくものです。どうぞ、ご協
力をお願い申し上げます。

特記事項 昨年度より行事の資料をB5版からA4版に拡大し、表紙絵や表題の筆字を役員持ち回りで担当しています。また、開会式の「お勤め」と「讃歌」を連動すると共に、新たな仏教讃歌の普及をを目指しています。今後、現代社会が提起する問題、ことに高齢社会が投げかける問題を課題とした研修の取り組みを検討していくま
す。

一年を振り返って



前寺族婦人会会長
桃井美紀子

十勝組研修部
部長 脇谷 晴融

研修部における二〇〇九年度の活動報告と基幹運動推進委員会総会の折りに、二〇一〇年度の課題を確認しました。

研修部として具体的なものは、「テレホン法話の運営（法話順、日程作成）」ならびに「テレホン法話集（二〇〇〇年以降のテレホン法話で用いた原稿を約二十編毎に冊子に編集）」の作成」があります。

並行的に「第八期れんけん」の第四回～第十一回をほぼ隔月毎に開催しました。毎回、十ヶ寺から熱心にご参加いただく中、二月十三～十四日には第九～十回を十勝川温泉・観月苑において一泊研修として実施し、四十名に及ぶ受講を頂きました。今年度上半期に修了しますので、第八期の総括になります。

並行的に「第八期れんけん」の第四回～第十一回をほぼ隔月毎に開催しました。毎回、十ヶ寺から熱心にご参加いただく中、二月十三～十四日には第九～十回を十勝川温泉・観月苑において一泊研修として実施し、四十名に及ぶ受講を頂きました。今年度上半期に修了しますので、第八期の総括になります。

並行的に「第八期れんけん」の第四回～第十一回をほぼ隔月毎に開催しました。毎回、十ヶ寺から熱心にご参加いただく中、二月十三～十四日には第九～十回を十勝川温泉・観月苑において一泊研修として実施し、四十名に及ぶ受講を頂きました。今年度上半期に修了しますので、第八期の総括になります。

○九年度報告・〇年度計画

毎年同様の依頼をさせていたたいておりますので、よろしくお願ひいたします。

テレホン法話集は〇七年度に「一粒の涙を抱いて・第一集」を刊行後、その続編シリーズとして「第三集（二〇〇二年一月～二〇〇三年十二月）」を発刊しました。今年度には引き続き第四集を編集作成の計画でいます。

テレホン法話の運営（法話順、日程作成）ならびに「テレホン法話集（二〇〇〇年以降のテレホン法話で用いた原稿を約二十編毎に冊子に編集）」の作成」があります。

並行的に「第八期れんけん」の第四回～第十一回をほぼ隔月毎に開催しました。毎回、十ヶ寺から熱心にご参加いただく中、二月十三～十四日には第九～十回を十勝川温泉・観月苑において一泊研修として実施し、四十名に及ぶ受講を頂きました。今年度上半期に修了しますので、第八期の総括になります。

並行的に「第八期れんけん」の第四回～第十一回をほぼ隔月毎に開催しました。毎回、十ヶ寺から熱心にご参加いただく中、二月十三～十四日には第九～十回を十勝川温泉・観月苑において一泊研修として実施し、四十名に及ぶ受講を頂きました。今年度上半期に修了しますので、第八期の総括になります。

昨年は、例年の行事に加えて、五月の「寺族婦人会創立五十周年記念事業」の実施ということで、前半は何かと気せわしく過ぎていったように思います。一昨年より準備に時間を費やし、会員一丸となつて取り組んだ行事だけに会員それぞれに得るものは多かつたのではないかでしょうか。

寺族婦人会も世代交代の時期を迎つつある中で会員相互の親睦がはかされましたのは何よりの収穫と思つております。また、寺族婦人会のこれまでの歴史をも振り返ることができ、先輩諸氏のご苦労を思い、次代へとつなげていく責任の重さを改めて気づかせていただきました。

二年間、会員の皆様をはじめ本当に多くの方々のご協力を頂きましたこと、この場をおかりして改めお礼申し上げます。

本当にありがとうございました。

テレホン法話&テレホン法話集

テレホン法話に関しては、二〇一〇年度当初に十勝組基幹運動推進委員会の各部担当を主に法話順

を決定し文書でお知らせしました。講師には連研中央講師で

十勝組基幹運動推進僧侶研修会

その間に数回の部会を開催し、「十

勝組基幹運動推進僧侶研修会」を開催しました。例年通り十勝川温泉・観月苑を会場とし、三十名強の参加者で行いました。講師には連研中央講師で

たよう思いました。

二年間、会員の皆様をはじめ本当に多くの方々のご協力を頂きましたこと、この場をおかりして改めお礼申し上げます。

本当にありがとうございました。

二年間、会員の皆様をはじめ本当に多くの方々のご協力を頂きましたこと、この場をおかりして改めお礼申し上げます。

本当にありがとうございました。



本願寺帶広別院
輪番
本川 道法

宮崎県出身で、メキシコに十四年、前任地は四国（四州教区）と

暖暖な気候に慣れていた私にとりまして、十勝のマイナス二十度という寒さは驚きでした。しかし、冬の厳しさと同時に、人情の温かさ、春を待つ楽しさを教えて頂いたように思いました。

ご当地十勝は、私にとりまして二度目のご縁ですが、生涯忘れられないご因縁の地あります。今から十五年前、メキシコ開教地在任中に十勝組六ヶ寺と帶広別院に報恩講法要の布教使としてのご縁を頂きました。

その折、お世話を頂いたあるご門徒の方に「お参りが多くていいですね」と尋ねると、「昔の報恩講は本堂が満堂で、何よりもお念佛の声で溢っていました」と、しみじみ申し訳なさそうにお念仏を申されていました。よく僧侶の間で、「最近お寺のお参りが少なくなつた」と話題になる度に、このご門徒さんの姿を思い浮かべて、参拝者の数を気にするより前に、ます「私の口からお念仏が出ているかな」と自問自答しております。

この度、この十勝の地に再度ご縁を頂きましたことは、「念仏者として原点に帰れ」という阿弥陀様からのお諭しではないかと願っております。

皆様にご指導ご鞭撻を賜りながら、お念佛興隆のために精進させて頂く所存でありますので、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

合掌

二度目のご縁ですが、生涯忘れられないご因縁の地あります。今から十五年前、メキシコ開教地在任中に十勝組六ヶ寺と帶広別院に報恩講法要の布教使としてのご縁を頂きました。

ビハーラ活動の一年を振り返り

ビハーラ十勝代表

藤本 德美

満面の笑みで「待つてたんだよ」

「今度はいつ?」こんな入居者の

方々の声や、持参していく阿弥陀様に深々と合掌礼拝される尊いお姿に支えながらの活動の一年でした。

浄土真宗本願寺派で「ビハーラ活動」が始まりましたが昭和六十一年。十二年。「ビハーラ十勝」として十勝で設立されましたのが平成九年。途中休止期間もありましたが、十勝組のお力添えを頂き、昨年四月より特別養護老人ホーム「帯広慈恩の里」で月に一度、入居されている方々を対象に活動を再開させて頂きました。

昨今、病院や施設で死を迎える方が増えつつある中、限られた空間の中で少しでも「外の風(安らぎ)」を届けることができたら、

そして関わり(共感)を通して、活動に携る私達自身も生きる意味

を学ばせて頂いています。昨年暮

れには、施設長・職員の方々と懇親会も実現し、施設長より「生老病死から起る苦しみや不安は医療関係者や施設スタッフだけでは

解決出来ない部分。長く続けて頂きたい」とのお言葉も頂きました。

今後の課題としては、施設側と

のより深い連携と、この活動をよ

り多くの方にご理解頂き、共に活

動して下さるスタッフ募集中!

第三十七回となつたこの講座。第一回は、川湯温泉で三泊四日であつたと聞く。(現在は二泊三日)

そこから鉢路・北見・十勝の僧侶の方々の理解を得ながら、いまの十勝川温泉での開催へと移り変わつていき、ご講師も初めは利井興弘講主からその息子である明弘先生、その孫である唯明先生へと変わり、時には本願寺勸学の梯巣和上や高田慈昭先生など、地方においてなかなかお話を伺うことが出来ない先生もご出講下さいました。

今は、「ご講主と天岸淨圓先生に「阿弥陀経のこころ」と「觀無量寿經のこころ」を順番にお聞かせいただきており、この講義に大阪から毎年やつてくる方もおられるほど、熱心なご門徒の方々に刺激を受けながら、今年も開催されました。

【活動日のプロクラムと流れ】

※集合・打合せ・準備(入居者の方々のホールへのお誘いと移動)

介助)

《ホールでの集い》

※ 勤行(重誓偈)

歌の時間(季節の歌や歌謡曲)

※お詫話(ご法話・感話)

お楽しみ(体操・紙芝居・ゲーム等)

真宗の成人講座について

宝照寺 泉 恒樹



地区 真宗の成人講座も、今年毎年恒例となつてゐる「北海道



温泉に入り、ゆったりした中で講義を頂くと、いうのは、忙しく慌ただしい毎日を送っているものにはある意味贅沢な時間であります。そういう中にあるからこそ意味があるのだろうと、亡き「昔原式也」本行寺前住職のお心を感じるところであります。

温泉説法を終えて

浄教寺 池上 典子

この度初めて温泉説法を経験し、会場に沸き立つ熱気と青僧協の方々の意氣込み、そしてその完成度の高さにただただ圧倒され続けた二日間でした。

そもそも私はお寺との関わりが薄く、この温泉説法に出演することになったのも知人から演劇の依頼を受けたのがきっかけでした。裏方としてお手伝いするつもりで顔合わせへ向かい、数時間後には意氣消沈していました。「私が?母親役?」:誰にも言えない衝動を抑えつつ、でもやるしかないと、これをしなきや温泉説法は終わらないというそんな気持ちでした。

本番まで残された時間は約一ヶ月。演劇部員は未経験者ばかりと聞いていましたが、いざ練習に入ると台詞を覚えることから役柄をものにするまでの進歩が早く、皆の勢いと活力の強さを感じました。

そして迎えた温泉説法当日は、朗説説法の途中から

の参加となりました。動きがなくとも朗説のみで聞き手にしっかりと伝わってくる読み手の巧みさ、動きがないからこそ朗説のみに耳を傾け、その内容から仏教とは、教えとは何かを考える、初めて聞いた朗説説法にはそんな魅力がありました。

懇親会では様々な出し物が用意されていました。ご門徒の方々は終始笑顔で、懇親会をとても楽しまれている様子でしたので、その場に一緒にできたことを嬉しく思いました。

翌朝は慌しく時間だけが過ぎ、気付くと本番のときを迎えていました。いざ本番が始まると、あつという間に台詞を忘れましたが、皆に助けられ何とか終えることができました。舞台の出来はさておき、皆で一つのものを成し遂げた達成感と共に、それが終わってしまった寂しさを感じました。しかし、演劇部員の方々と共に過ごしてきた時間の中で、お育ていただいたことがどうございました。

今回の温泉説法に出演者として参加させていたまき、また、多くのありがたいご縁をいただきましたことに心から感謝しております。ありがとうございました。

多くの方のいのちと、このごろのうそをめぐまれました。多くおめぐみを深くお贈りいたします。ありがとうございました。

みんなで唱えましょう

食後のことは

食前のことは

多くのいのちと、
このごろのうそをめぐまれました。

多くおめぐみを深くお贈りいたします。

は今後も自分の財産になると思います。

十勝組・帯広別院テレホン法話 当番表

2010(平成22)年度

5月15日～5月31日
光明
光音寺・頬田

6月1日～6月30日
芳瀧
圓勝寺・智仁

妙覺寺・曉融
曉融
臨谷

7月1日～7月15日
妙覺寺・曉融
曉融
臨谷

8月1日～8月15日
大正寺・芳行
大正寺・芳行

8月16日～8月31日
寿光寺・増山
寿光寺・増山

9月1日～9月15日
光心寺・桃井
光心寺・桃井

9月16日～9月30日
宝照寺・鈴木
宝照寺・鈴木

9月1日～9月15日
圓願寺・彭玄
圓願寺・彭玄

9月16日～9月30日
永年の十勝組仏壇連盟の会長として、また北海道教区仏壇連盟の会長として、ご尽力いただきました。

訃報

去る十一月十六日、元十勝組仏教婦人会々長塚本忠子様が、行年八十二歳で往生の榮穂を遂げられました。

永年の十勝組仏壇連盟の会長として、また北海道教区仏壇連盟の会長として、ご尽力いただきました。

編集後記

組報二十四号をお届けいたします。今年より来年にかけて、大遠忌法要関係の行事が、教区組でもお待ち受け法要等があります。さて、本号は原稿が多く、記載渋れがあるので、次号に掲載させていただきます。

スタッフ一同

☆宗門目標 御同朋の社会をめざして ☆スローガン ともにいのちかがやく世界へ

テレホン法話 (0155)21-7777
十勝組ホームページ <http://www.tokachiso.com>
北海道教区ホームページ <http://www.hokkaidohongwanji.jp>
(IDは寺院番号6ヶタ、パスワードは教区時報第194号に各寺同封)